



# はなのき

神坂小学校だより No.7 2024.9.24



## 神坂学校運動会に向けての取組がスタート

校長 伊藤 博章

17日に結団式を行いました。いよいよ神坂学校運動会に向けての取組が、本格的にスタートします。今年度のスローガンは『全力疾走 ～やり切る・協力～』です。各団の団長は、「練習から全力で取り組んで自分の力を出し切り、楽しめる運動会にしたい。」と決意表明をしました。

今年度の運動会は、少しでも涼しい中で練習や本番ができるようにしたいと考え、10月3日に開催することに決めました。幼稚園は落合と統合したため、今年度と来年度は小中児童生徒の行事となります。さらに、令和8年度には小中学校ともに落合と統合するため、神坂学校運動会は残り2回となります。それだけに、子供たちにとって思い出に残る行事にしたいと考えています。

今年度は幼稚園児による種目がないため、小中学校の種目をいくつか増やしました。その中で、5年生が「大玉ころがし」、6年生が「玉入れ」について企画をしました。先日、それぞれの学年の代表が、種目の紹介とともに「自分たちにこの種目を任せてほしい。」というお願いにきました。「分かりました。あなたたちに任せます。」という承諾をし、「みんなが笑顔になるような素敵な競技にしてくださいね。」とお願いをしたら、「はいっ！」と元気に、うれしそうに返事をしてくれました。当日に向けて、5、6年生のみんなが自主的に活躍し、自分たちで成功させたという満足感を得てほしいです。また、今年度は「神坂学校全員リレー」があります。小学校1年生から中学校3年生までが全員でバトンをつなぎます。バトンを通して心をつなぐ一体感を感じる機会にしたいと願っています。

18日には、中京高校保育科の生徒49名を講師に招いて、運動会で披露する「キッズソーラン」の練習会を行いました。高校生からは「よりかっこよく踊るポイント」を前半に3つ、後半に2つ教えていただきました。「両手を前後にしっかり伸ばした後、腰を低く落とす」「重い物を押したり持ち上げたりするイメージで力強く」「上半身をしっかりねじる」「クワガタとカブトムシ」「動きを止めるところは流れないようにしっかり止める」などです。実際に踊りながらそれぞれの動きを意識して練習すると、子供たちはみるみる上達していきました。笑顔やハイタッチの姿もどんどん増えていきました。また、高校生による演舞を2つ見せてもらいました。力強さと美しさが伝わってくるとても素晴らしい演舞でした。全力で踊ることのかっこよさや、観客に伝わる感動の大きさを子供たちが実感できた時間になりました。



最後の感想交流で、「力を込める踊り方が分かったので、それを生かしてかっこよく踊りたいです。」という感想がありました。みんなも同じことを感じていたと思います。当日の楽しみが、また一つ増えました。

子供たちが、高齢者の方々にむけてメッセージを記入したしおりを作成しました。総合的な学習の時間でお世話になる地域の方々も含め、少しでも感謝の気持ちが伝わることを願いながら、9月11日に6年生の代表が区長会長に渡しました。

